

奈良女子大学
古代学学術研究センター

第 1 1 回月例研究会

日時：2011年8月3日（水）16：30～

場所：生活環境学部会議室（生環 A 棟 1 階）

内容：「古代試料中タンパク質の分析可能性」

河原 一樹（古代学学術研究センター特任助教）

「タンパク質は、墨や絵具の固着剤として利用されているコラーゲンの様に、幅広い年代に渡って多数の文化財に利用されてきた歴史を持つ稀有な素材である。しかしながら、DNA に連想される経年劣化や適した分析技術の欠如の為、特に古代試料中のタンパク質が研究対象となった例は極めて少ない。

本発表では、最新の質量分析技術を用いた古代試料中のタンパク質の分析可能性について報告する。」

ご自由にご参加下さい